



Interview
防犯DIGに参加して

伊方小3年
香月 大志 くん
Taishi Katsuki

みんなで情報を共有できた

僕は家族でDIGに参加しました。マップには自転車を盗まれた場所や、友だちが不審者に声をかけられたという場所などを書き込みました。こういう場所があることを、近所の大人の人にも知ってもらえて良かったです。でも学校に行くまでの道沿いにも、空き巣などの犯罪が発生した危険な場所があることを知って、泥棒が同じ道を歩いていると思うとこわくなりました。前は狭い道を通って近道をしていましたが、DIGの後は見通しが悪い危険な道は通らないようになりました。何かあった時に逃げ込める場所なども分かったので、友だちにも教えてあげようと思います。



【防犯DIGの流れ】1 各グループでシートに「普段よく使う道路」「人通りが少ない道路」「見通しが悪い場所」「実際に犯罪が発生した場所」「地域の防犯で役立つ・抑止になる施設」などを記入。2 各グループのシートを合わせ、弱点を発見。3 実際に「まちあるき」をし、危険な場所などを確認。4 弱点にあわせた対策を考える。



Interview
防犯DIGに参加して

松村 和文 さん
Kazufumi Matsumura

防犯意識向上のきっかけに

空き巣の発生などは公になってない場合も多く、なかなか耳に入ってこないため、今回こんなに近くで発生していることを初めて知って、正直驚きました。こういう情報が頭にあると見方が変わります。DIGの後は、家の防犯対策も強化しましたし、近所を知らない人が歩いていると少し気になって見るようになりましたね。またマップの作成をおして近所のみなさんと意見を交わし合い、みんな地域を思う気持ちは一緒なんだと感じました。良い連帯感が生まれたように思います。こういったつながりを日ごろから持ち、互いに助け合い、犯罪のない地域にしていけたらと思います。

犯罪を寄せ付けない地域へ

自分たちが住みやすい安全な地域をつくらうとの思いから、昨年、伊方大星地区で「防犯DIG」が行われ、住民35人が参加しました。DIGとは「Disaster = 災い」「Imagination = 想像力」「Game = ゲーム」の頭文字をとったもの。実際に犯罪が起きた場所などをマップに書き込み、ねらわれやすいポイントやその対策を地域ぐるみで考えました。

防犯対策は、継続しなければ効果がなく、防犯の意識を忘れない「忘犯対策」が最も大切です。DIGをマップ作りだけで終わらせず、参加した一人ひとりが普段の行動につなげていかなければなりません。犬星地区では、地域新聞でDIGの報告や防犯啓発を行い、DIGで作成されたマップをもとに、地区内の6か

所に不審者を抑止する看板を設置。地域で確実に防犯の「芽」がはぐくまれ、大きな力となっています。このような取り組みが町全体に広がることで、真の「安全で安心なまちづくり」が実現するのではないのでしょうか。

「今日が大丈夫だから明日も大丈夫」とは決して言えません。まずは身近で起きている犯罪を、自分のこととして考えてみてください。今日からでもできることや、自分だけではできないことに気付くはずですよ。昔と比べて隣近所とのつながりが希薄化した今、わたしたちはもう一度、地域との関係を見つめ直す必要があります。地域の防犯活動は、知らない誰かを守るためのものではありません。そこに住むみなさんが共に助け合い、明るい地域をつくっていくことが、わたしたちの家を、生活を、命を守ることにつながるのです。



明るい町が犯罪を防ぐ 今試される地域力 地域力



「地域の安全は地域で守る」を合言葉に、防犯の輪を広げている犬星地区。その積極的な取り組みから、地域のチカラの可能性を探ります。

地域の連帯感が空き巣を防ぐ

慎重な下調べを終え、ねらいを定めた空き巣犯でも、直前に犯行をあきらめる場合があります。その中で最も多い理由が、近所の人にじろじろ見られた・声をかけられた・というもの。怪しまれて通報されるかもしれないと考えるのです。逆に、知らない人がうろついても気付かれない地域は、空き巣犯にとって犯行がしやすい地域だといえます。また、ゴミ出しのルールが守られていなかったり、放置自転車があるなど、住民のモラルが低く環境管理が行き届いていない地域でも、犯罪が起こりやすいと言われています。

安全で安心な暮らしは誰もが望んでいるもの。近所で犯罪が多発しているのは、当然安心できません。自分の家を守るためには、地域の安全確保が必要なのです。パトロールだけでなく、地域の清掃活動や、外出前に隣近所に「声掛け」といったことも防犯対策の一つ。犯罪自体をなくすことは難しいかもしれませんが、地域が協力して全体に「防犯の目」を張り巡らせることで、犯罪が起こりにくい環境をつくることはできるはずですよ。そのためには日ごろから隣近所とのコミュニケーションを深め、笑顔で声を掛け合える地域のつながりを築くことが重要となります。



連帯感が強い地域には犯罪者が寄りつきにくい。日ごろからの交流が大切です。